

2023. 3. 10

< 配信枚数2枚 >

報道関係者 各位

～イタリアと広島県尾道市瀬戸田町をライブ中継～
瀬戸田というテロワール イタリア・世界へのレモンアドベンチャー
～食・地域資源を活用したグラスルーツ・イノベーション～
「GAstroEdu プロジェクト：Lemon Adventure 3」開催
日 時：2023年3月18日（土）14時～17時
場 所：ベル・カントホール（広島県尾道市）

立命館大学 EDGE+R プログラムは、広島県尾道市の瀬戸田レモンを活用した地域発イノベーション創出に向けたイベント「Lemon Adventure 3」を3月18日、ベル・カントホールで実施いたします。

本学では、2020年より「GAstroEdu(ガストロエデュ)」と題して、世界の食を通して持続可能な未来を考えるSDGsオンラインワークショップを開催しています。広島県尾道市瀬戸田町(※)においても、2021年12月に「地域の特性や食・農業・文化を活かした産業のあり方」をテーマにイタリア・アマルフィとのオンライン企画を実施しました。その後、地元業者と連携したレモンスイーツ開発や、食の世界的なイベント「テッラ・マードレ」(イタリア・トリノ)でレモンワークショップを開催しています。

今回のイベントは食・地域資源を活用したグラスルーツ・イノベーションの先端的取り組みとして、「瀬戸田というテロワール：イタリア・世界へのレモンアドベンチャー」をテーマとしています。瀬戸田が世界へ挑むイノベーションのいまを追いながら、食・地域資源を活用した「グラスルーツ・イノベーション」のありかたと、瀬戸田レモンと瀬戸田の魅力を再発見。イタリアと瀬戸田をライブ中継しながら、食生産者の方や、加工業者、行政関係者をお招きし、多様な方々の対話やディスカッションを通じて、未来の豊かな食・地域の価値づくりや産業について考えるワークショップです。

(※)広島県は、レモン生産量が日本一を誇り、瀬戸内海の島々を中心にレモン栽培が発展してきました。瀬戸田町(尾道市)は、国産レモンの発祥の地域とよばれ、温暖な気候と少ない降水量から柑橘類の生産に恵まれた環境として古くからレモン栽培が行われてきました。安全・安心なレモンとして皮まで食べられる「せとだエコレモン」は、平成20年に広島県認定の特別栽培農産物の認証を取得し、せとだエコレモンを利用した加工食品も多彩に販売されています。本年1月には、「せとだエコレモングループ」が第52回日本農業賞の大賞を受賞しました。

■取り組み概要について

日 時：2023年3月18日(土)14時～17時(開場：13時30分)

場 所：ベル・カントホール(広島県尾道市瀬戸田町瀬戸田535-1)

参加者：申し込み不要。どなたでもご参加いただけます。 ※参加費無料

内 容：別紙をご覧ください。

※ご取材いただける場合は、前日までに下記担当者までご連絡をお願いいたします。

本リリースの配布先：尾道市役所記者クラブ

●取材・内容についてのお問い合わせ先

立命館大学共通教育課 EDGE+R 事務局担当：野神・吉川

TEL.077-561-5910 Email. r-edge@st.ritsume.ac.jp

別紙

■イベント内容 ※内容は変更になる可能性がございます。

2023年3月18日(土)14:00-17:00

	開会挨拶
	日本農業大賞受賞のご報告「せとだエコレモングループ」
第1部	<p>■映像 「イノベーターたちがみた瀬戸田の魅力」 (2月18日瀬戸田レモン体験参加者インタビュー)</p> <p>■パネルセッション 「瀬戸田レモンと瀬戸田の魅力を再発見する」 片山農園 片山武志氏 原田農園 原田充明氏 田坂農園 田坂知也氏 稲葉農園 稲葉典文氏 ほか</p>
第2部	<p>■基調講演 「スローフードと地域の未来」 立命館大学食マネジメント学部 石田雅芳教授</p>
第3部	<p>■対談 「Lemon Adventure2 から世界へ:テッラ・マードレでの挑戦とこれから」 株式会社島ごころ代表取締役 奥本隆三氏 立命館大学食マネジメント学部 石田雅芳教授</p> <p>■イタリア中継 「レモンのテロワール:地域と食の関係～イタリアの事例から～」 (予定) リモーネ市観光課広報担当、レモンツーリズム協会 Emanuela Girelli 氏 Agrigelateria St. Pé シェフ Davide B Burzio 氏 リストランテ・アル・カンチェット シェフ Giuliano Donatantonio 氏 Villa Rina country house マネージャー、レモン料理研究家 Rina Gorga 氏 アマルフィ レモン生産者 Salvatore Aceto 氏</p>

■立命館大学 EDGE+R プログラムについて

「立命館大学 EDGE+R(イノベーション・アーキテクト養成プログラム)」は、イノベーションを興せる人材の輩出を目指し、学内外を問わず、新しいことに挑戦するひとを求めるプログラムで、2014年から始まりました。起業を目指すひと、仲間が欲しいひと、企業課題の解決をやってみたいひとなど、多様なひとが混ざる「場」として、学部の垣根を越えた多様なプログラムを用意しています。

EDGE+R プログラムは、文部科学省グローバルアントレプレナー育成促進事業(EDGE、2014年度～2016年度)に引き続き、文部科学省次世代アントレプレナー育成事業(EDGE-NEXT、2017年度～2021年度)に採択され、2022年度より立命館大学独自のプログラムとしてスタートしているプログラムです。本プログラムでは企業協賛ワークショップと称し、企業より与えられた課題、テーマについて、「デザイン」に関わる手法をもとにビジネスモデルを考えるワークショップを実施しています。